

第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 1202005

政策目標	3	のびやか・雄武～教育・文化の振興～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	13	生涯学習・生涯スポーツの推進	事業優先度	B		
単位施策	3	青少年教育の推進	政策事務分類	3	単独自治事務(その他)	
事業名	家庭教育推進事業		見直し年度	平成22年度		
事業期間	平成20年度～平成24年度		担当課	12	教育委員会教育振興課	
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	町内各学校での取り組み		関係例規・法令名	#N/A		
事業目標	全学年での開催		ハード/ソフト事業区分	2	ソフト事業	
住民参加 住民協働	1	PTAとの協働	関係個別計画名			

全体計画 事業内容		平成20年度 事業内容	平成21年度 事業内容	平成22年度 事業内容	平成23年度 事業内容	平成24年度 事業内容
計画 内容	○家庭教育の推進 ・家庭教育学級への助成支援 ・家庭教育講演会の開催	家庭教育学級への助成支援 家庭教育講演会の開催	家庭教育学級への助成支援 家庭教育講演会の開催	家庭教育学級への助成支援 家庭教育講演会の開催	家庭教育学級への助成支援 家庭教育講演会の開催	家庭教育学級への助成支援 家庭教育講演会の開催
	事業費(千円)	2,000	400	400	400	400
計画 事業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	2,000	400	400	400	400	
実績 事業 費	事業費(千円)	1,423	291	294	252	284
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	1,423	291	294	252	284	
関連 事項	(特定財源の詳細等)		(実施内容等) 家庭教育学級への助成支援 開設学級6学級	(実施内容等) 家庭教育学級への助成支援 開設学級6学級 273名	(実施内容等) 家庭教育学級への助成支援 開設学級6学級 269名	(実施内容等) 家庭教育学級への助成支援 開設学級6学級 283名
	【評価・実績】		家庭教育講演会の開催 参加者:155名	家庭教育講演会の開催 参加者:109名	家庭教育講演会の開催 参加者:77名	家庭教育講演会の開催 参加者:170名
			※前年度評価結果 A—継続/現状維持	※前年度評価結果 B—継続/現状維持	※前年度評価結果 B—継続/現状維持	※前年度評価結果 A—継続/現状維持
	※前年度評価結果 A—継続/現状維持					
	※前年度評価結果 A—継続/現状維持					
第4期総合計画関連 (継続有り)	年度目標値	全学年(13学級)の開催	全学年(13学級)の開催	全学年(13学級)の開催	全学年(13学級)の開催	全学年(13学級)の開催
	年度達成率		74%	63%	71%	76%
	全体達成率	15%	29%	42%	56%	71%
	事業進捗状況	☆☆	☆☆	☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆

事業名	家庭教育推進事業	評価者 管理職 職氏名	教育振興課長	横田 和幸
		評価者 作成者 職氏名	生涯教育係長	佐藤 公輔

平成24年度実施
平成25年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	学級数と参加者								
【抱える課題やニーズは】	家庭教育環境の向上と、多くの学習機会の支援及び情報共有	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	ともに学び合う環境の醸成と家庭教育を支援する地域づくり	① 開設学級	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成24年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>13学級</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>7学級</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>53.8%</td></tr> </table>	目標年度	平成24年度	目標値	13学級	実績値	7学級	達成度	53.8%
目標年度	平成24年度										
目標値	13学級										
実績値	7学級										
達成度	53.8%										
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	家庭・学校・地域・関係機関とのネットワークの構築と学校教育・社会教育との連携	② 学級及び講演会参加者数	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成24年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>300名</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>440名</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>146.7%</td></tr> </table>	目標年度	平成24年度	目標値	300名	実績値	440名	達成度	146.7%
目標年度	平成24年度										
目標値	300名										
実績値	440名										
達成度	146.7%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	家庭教育学級	小学校での7学級を開設し、親子でのレクリエーションや調理実習を行った。(PTAの工夫により実施)									
	家庭教育講演会	講演会:「子どものシグナルに気づく大人、気づかない大人」~ブックドクターあきひろ(杉本昌弘) (雄武町PTA連合会共同事業)									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	ふれあいと学びの場を提供することにより、家族で過ごす時間の大切さを認識させる機会が図られる。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	家庭教育学級を開設することで学校、児童、保護者の3者のふれあいと交流の場の提供ができた。
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/> 達成	
	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	家庭教育学級では、必要最小限で経費の一部を助成しており、自主的な活動等の支援により、事業の効率的な効果が図られている。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

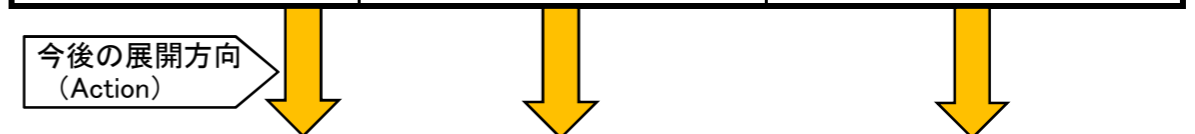
公平	判断の理由	家庭教育学級は開設学級の参加者による自主企画・自主運営としており、家庭教育講演会は、一般町民の参加として公平な周知啓発を行っている。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
学校と家庭との連携により家庭教育の推進を図る必要があり、多くの学級を開設することで計画どおりの事業が実施できた。		



継続/現状維持		
家庭教育の充実を図る事業であり、全学校、保護者、児童の交流の機会を継続して提供することで、情報の共有化が図られるとともに、さらなる家庭教育の向上が期待できる。		

※展開方向の区分
 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 終了 休止 廃止